



来賓をはじめ組合員など約110人が出席し祝賀会が開かれた。福井理事長にこれからのベイタウン尾道の方針、計画について聞いた。

■40年を振り返り今の心境は
40年はあるという間でした。旧尾道市の海岸沿いで商いをしていた卸売業者で、東尾道という海辺に近い広大な土地を得て、このベイタウン尾道を設立しました。流通機能の整備や経営の合理化、近代化を実現するため、当時約70億円の巨費を投じて集団化しました。その後、時代とともに東尾道のまちづくりや組合員、社員の就労しやすい環境づくりに取り組み、組合員の協力はもとより、一丸となって走り続けた40年です。

組合創立35周年に当たる平成18

年、組合員が減る中、改めて「新しい時代に対応したベイタウン尾道」をテーマに中長期ビジョンを取りまとめました。

平成21年度から2カ年にわたり国の補助事業である卸商業団地機能向上支援事業の適用を受け、連棟の実態調査と課題点の掘り起こし、産業会館利用実態調査とリニューアルプランの検討、地盤沈下と床下空洞の実態調査、CO2排出実態調査と削減可能量の推計、老朽化した共同冷凍倉庫の調査を行い結果をまとめました。その結果をもとに、創立40周年記念事業を打ち出し実現していきます。

■具体的な計画は
11月初旬から共同冷凍倉庫の改修工事を行っています。対象床面積4400㎡、投資額は約4.2億円をかけ、全国取扱高日本一を誇るいりこ・ちりめんをはじめとした海産物業界をリードする強固な基盤を築き、作業効率や保管効率の向上を図ります。

また、団地内は人通りが少なく、現状中小の店舗営業は成立しにくい。ため、大型店舗を誘致し、地域への集客を図りたい。そして、老朽化した組合会館を撤去し、多目的利用が

(協)ベイタウン尾道創立40周年
開かれたベイタウン尾道を目指して新たな一歩
11月18日式典と祝賀会を開催



尾道市東部海岸沿いに位置するベイタウン尾道。瀬戸の十字路に近い好立地。

ベイタウン尾道(尾道市東尾道、福井弘理事長、103社)は11月18日、創立40周年を記念し、同組合会館で式典を開いた。

1972(昭和47)年に協同組合尾道総合卸売センターの名称で県内初の卸団地として設立。当初、旧尾道市の卸売業社の活動の拠点として



組合会館で開かれた式典。

スタートしたが、現在では食品製造業や運送業、サービス業まで幅広い業態が集合している。

現在は組合員数103社(内準組合員15社)が加盟する中四国地方で最大規模の卸団地だ。全加盟社の合計年商は約1600億円、尾道の地域経済に大きな影響を持つ団地へと成長を続けている。

式典で、福井弘理事長(特福井魚



之助商店社長)は「経済環境の変遷の中、今日まで多くの困難な課題を克服しながら多くの事業に挑戦し、成果を得て40年の節目を迎える事ができた。感無量のものがある。これも関係当局のご指導はもとより、組合員各位の共助と連帯の力だと心から感謝申し上げます。これからも組合員の皆様から信頼され頼りになる組合として、あらゆる可能性を探る組合運営を心がけます」とあいさつ。



更なる発展を祈念して乾杯。

このあと中小企業庁長官表彰を円

ISO9001:2000 認証(本社)
製品の設計、製造及び販売

雄大なロマンを探しに出かけよう。

株式会社 河原
KAWAHARA MFG. CO., LTD.

本社・工場：広島県尾道市長光2-162-11
TEL:0834-82536 FAX:0834-82543
〒747-0292 尾道市東部町長光2-162-11
http://www.kawahara.com

ロゴマークを一新
ブルーを基調に「B・T・O」の頭文字で表現

組合設立40周年を記念して、ロゴマークを一新した。

テーマカラーは海とのつながりが深い土地の特性と尾道の歴史の深さを2色の落ち着いたブルーで表現。

ロゴはベイタウンの鳥瞰図をイメージし、空から見た直線的で整備された区画、路地をモチーフに Bay Town Onomichi の頭文字の「B・T・O」の文字で表現している。

旧ロゴマーク
Bay Town Onomichi

新ロゴマーク
ベイタウン尾道



可能な会議スペースなど今後組合事業が活動しやすいよう整備します。

CO2排出削減に關しては組合が掲げた年1%のCO2削減目標を実施。既に11月には組合館内の照明を全てLED照明ランプに切り替えた。計画ではベイタウン内で40%のLED照明を約3千本にする。組合員が設置しやすいようにレンタル制度や一括購入し安く取り付けできるような措置も取る。

「安心して働ける就労しやすい街に向けての環境整備」と「商都尾道の経済活性化の形成」、「人と情報の活発な交流を通じ、変化と魅力あるひらかれた街の形成」の実現のため、あらゆる可能性を探る組合運営を進めたい。

多様化モデル地区再開発イメージ